

ニュースレター 2025年12月

2026年01月10日

目次

「愛知県ベトナムサポートデスク」にご登録いただいた皆様に、12月分のニュースを発信させていただきます。

今号の目次

1. 2025年12月の社会経済情勢に関する報告書
2. 第10回会期：国会、51本の法律を可決し、大規模な立法作業を完了
3. ファム・ミン・チン首相が栃木県知事（日本）と面談
4. ロンタイン国際空港、初の商業便を正式に受け入れ
5. ベトナムに国際金融センターを設立することが正式に発表
6. 南北高速鉄道プロジェクトの建設は2026年末に開始される予定
7. FPT が初の商用チップを日本に輸出

2025年12月の社会経済情勢に関する報告書

出所：ベトナム財務省統計局

2025年第4四半期の国内総生産（GDP）は前年同期比8.46%増加し、2011年～2025年の第4四半期としては最高の成長率に達すると予測されており、各四半期が前四半期よりも速い成長を続ける傾向が続いています（第1四半期は7.05%増、第2四半期は8.16%増、第3四半期は8.25%増）。このうち、農林水産業が3.70%増加し、経済全体の付加価値増加に5.13%寄与しました。工業・建設が9.73%増加し、45.80%寄与しました。サービスが8.82%増加し、49.07%寄与しました。

1. 鉱工業生産指数（IIP）

2025年第4四半期の鉱工業生産指数（IIP）は前年同期比9.9%増と予測されており、製造業は10.8%増となる見込みです。

2025年通年では、IIPは前年比9.2%増（2024年は8.2%増）と予測されています。具体的には、製造業が10.5%増で、全体の増加率に8.4ポイント寄与します。発電・配電業は6.7%増で、0.6ポイント寄与します。水道・廃棄物・廃水管理・処理は7.8%増であり、鉱業は0.5%増で、それぞれ0.1ポイント寄与します。

2. 企業登録状況

12月には、全国で約17,200社の新規企業が設立され、前月比13.9%増、前年同期比71.6%増でした。約10,000社の企業が営業を再開し、前月比3.0%増、前年同期比12.7%増加しました。一定期間の営業休止登録企業は4,594社で、前月比5.5%減、前年同期比9.7%増でした。解散手続きを保留して営業を停止した企業は12,608社で、前月比89.1%増、前年同期比36.6%減少しました。解散手続きを完了した企業は5,045社で、前月比25.4%増、前年同期比115.1%増加しました。

3. 投資状況

2025年12月31日現在、ベトナムにおける外国投資登録資本総額(新規登録資本、調整登録資本、出資および株式購入額を含む)は384.2億米ドルに達し、前年比0.5%増加しました。2025年のベトナムで実施される外国直接投資資本は276.2億米ドルと推定され、前年比9.0%増加しました。

2025年のベトナムから海外への投資は、投資証明書が新たに発行された投資プロジェクト173件であり、ベトナムの資本総額は10億米ドルとなり、前年比65.9%増加しました。また、調整済み資本のプロジェクトは32件あり、調整資本は3億6,080万米ドルで、前年比3倍以上となりました。ベトナムから海外への投資資本総額(新規資本と調整資本)は13億6,200万米ドルに達し、前年同期比88.7%増加しました。

2025年10月の社会経済情勢に関する報告書

出所：ベトナム財務省統計局

4. 商品の輸出入

- 商品の輸出：12月の輸出総額は440.3億米ドルで、前月比12.6%増、前年同期比23.8%増となりました。
- 商品の輸入：12月の輸入総額は446.9億米ドルで、前月比17.6%増、前年同期比27.7%増となりました。
- 2025年の輸出入市場について、米国はベトナムにとって最大の輸出市場です。中国はベトナムにとって最大の輸入市場です。

5. 消費者物価指数（CPI）

12月の消費者物価指数（CPI）は前月比0.19%上昇しました。前年同期比では3.48%上昇しました。2025年第4四半期の平均CPIは、2024年第4四半期比で3.44%上昇しました。2025年通年では、CPIは前年比3.31%上昇し、国会が設定した目標を達成しました。

第10回会期：国会、51本の法律を可決し、大規模な立法作業を完了

（出所：BAO CHINH PHU）



国会は、会期全体の立法文書総数の30%に相当する51の法律と8つの規範的決議を可決しました。

12月11日午後、第15期国会第10回会期の閉会直後、国会事務総長兼国会事務局長のレ・クアン・マイン氏が記者会見を主催し、第10回会期の成果を発表しました。

第15期国会第10回会期は、新時代の国家発展の方向にとって特に重要な多くの戦略的問題を検討し決定するために、非常に成功した第13回党大会中央委員会第13回会議の直後に開催された、その会期の最後の定例会議です。

科学的、革新的、そして高い責任感を持って、40日間継続的かつ緊急かつ真剣な作業を行った結果、第10回会期は予定されていた内容と議題をすべて完了し、成功裏に終了しました。

国会は、51の法律と8つの規範的決議を検討・可決し、2021～2026年の任期中の国家機関の活動を審査し、権限内の人事問題を検討・決定し、「2020年環境保護法発効以降の環境保護に関する政策と法律の実施」に関するテーマ別監督を実施しました。

同時に、第14回党大会に提出する文書案について討議し、意見を述べたほか、社会経済発展、国家予算、国家目標計画と国家重要プロジェクトへの投資政策、国家全体計画の調整などに関する重要事項を審議、決定しました。

ファム・ミン・チン首相が栃木県知事（日本）と面談

（出所：BAO CHINH PHU）



12月16日午後、ファム・ミン・チン首相は、12月15日から17日までベトナムを訪問していた栃木県の福田富一知事と県幹部らと面談しました。

面談において、チン首相は、ベトナムと日本の包括的戦略的パートナーシップが、多くの顕著で実質的かつ効果的な成果を上げ、政治的信頼が深まる中で力強く発展していることへの喜びを表しました。

この機会に、チン首相は、ベトナムの発展と困難な時期における日本の積極的かつ効果的な支援、特に新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおけるワクチン提供への支援に感謝の意を表しました。ベトナム国民は日本と日本国民に対して非常に良い印象を持っていると述べました。

首相は、福田知事と栃木県に対し、経済、投資、貿易、観光、人材育成、文化といった分野において、ベトナム、特にフート省との友好協力関係を継続的に支援し、積極的に推進していることを高く評価しました。

チン首相は、ベトナムは一貫して日本を最重要なパートナー、信頼できる友人、そして新時代におけるベトナムの同行者としてみなしていると述べました。2025年の11月末、ベトナムはクアンニン省において、「包括的な発展に伴走し、持続可能な未来を創造する」をテーマとした第一回ベトナム・日本地域協力フォーラムを成功裡に開催し、ベトナムの省庁、各機関と50の地方自治体の代表者、そして両国から数百の企業・団体が参加しました。チン首相は、地域協力が両国の首脳の合意を実施し具体化するための、実質的かつ効果的な協力チャンネルであり続けると信頼していると述べました。

今後、ベトナムが地方分権化を加速させていることを踏まえ、チン首相は、栃木県及び福田知事に対し、日本の資本、技術、経営とベトナムの資源、人材といった双方の補完的な強みを活かし、ベトナムの地方との実質的かつ包括的な協力の拡大を引き続き積極的に推進するよう要請しました。

同時に、中小企業を含む栃木県内企業のベトナムへの投資拡大を奨励・促進するとともに、協力を強化し、人材育成を推進し、栃木県及びベトナムの企業ニーズに合致した質の高い人材の受け入れを進めます。

この機会に、チン首相は栃木県に対し、謝意を表すとともに、引き続き県内で生活、学習、就労するベトナム人コミュニティへの配慮、好ましい環境整備、そして実践的な支援策の提供を要請しました。

福田富一知事は、今回が4度目のベトナム訪問であり、首相の歓迎のお時間に感謝の意を表すとともに、今回の訪問の成果について報告しました。

知事と代表団のメンバーは、建国80年を経てベトナムの国と国民が達成した輝かしい業績を祝福するとともに、ベトナムの発展の潜在力、投資環境、そして人材を高く評価しました。

先日、栃木県で第3回ベトナムフェスティバルが成功裡に開催され、約5,000人が参加したことについて、福田知事は、栃木県はフート省を含むベトナムとの協力関係の拡大と更なる発展を常に重視し、努力を重ね、特に労働協力と観光交流の分野であると述べました。

栃木県は、県内で生活し、働いているベトナム人コミュニティに好ましい環境を整備し続けることで、ベトナムと日本の友好協力関係のさらなる発展に貢献していきます。

ロンタイン国際空港、初の商業便を正式に受け入れ

(出所：BAO CHINH PHU)



ベトナム航空Vietnam Airlinesが運航する初の旅客便がロンタイン国際空港に正式に着陸し、ベトナムで最も近代的な玄関空港の運用開始に向けた重要な節目を刻みました。

ベトナム航空がボーイング787ドリームライナーを使用して運航したVN1便は、ロンタイン空港に最初に到着したグエン・ホア・ビン副首相と約100人の乗客を乗せ、ハノイからロンタインまでの旅を2時間で完了しました。

12月15日のフライトに続き、ベトナム航空のワイドボディ機が再びロンタイン国際空港に安全に着陸したことは、同空港の高い対応力に加え、関係当局および各サービス提供機関の連携能力を改めて証明するものです。これは、同空港の正式な商業運航開始を表す重要な出来事です。

ベトナムに国際金融センターを設立することが正式に発表

(出所：BAO CHINH PHU)



12月21日午前、ファム・ミン・チン首相がベトナム国際金融センター設立を発表する会議を主宰しました。

国際金融センターの設立は、党、国家、政府によって制度的なブレークスルーの一つとして認識されており、生産性、効率性、国家競争力を向上させ、ベトナムを新しい時代に導くことに貢献するための資源を解放し、経済構造の編集に伴う成長モデルの変革を促進する政策です。

財務省によれば、今回の会議は特に重要なイベントであり、国家経済・金融発展戦略の新たな段階を示すものであり、世界経済との深い統合に向けたベトナムの党、国家、政府の強い決意を示すものです。

この会議は、主に次の3つの目的で開催されました。(1)ベトナムの国際金融センターの完全な法的枠組みを確立する重要な文書を公式に発表すること、(2)安定した、透明性のある、安全で投資家に優しい金融環境を構築するというベトナム政府の強い決意を確認すること、(3)ベトナムが、国際社会に開発の機会を共有し、協力し、共に歩む用意があるという明確なメッセージを発信することです。

南北高速鉄道プロジェクトの建設は2026年末に開始される予定

(AIで作成された写真)

(出所：BAO CHINH PHU)



チャン・ホン・ミン建設大臣は、高速鉄道プロジェクトの建設が2026年末までに確実に開始されるよう、建設省傘下の部署に対し、特別なメカニズム、投資方法、投資家選定基準に関する建設省の報告書を早急に完成させるよう要請しました。

南北高速鉄道プロジェクトとラオカイ・ハノイ・ハイフォン鉄道建設プロジェクトの実施状況を検討する会議におけるチャン・ホン・ミン建設大臣の結論通知によると、建設省指導部は、現在の状況では主要な国家鉄道プロジェクトの進捗を加速するために最高レベルの集中力が必要であることを認識しています。

ラオカイ・ハノイ・ハイフォン鉄道プロジェクトに関して、建設大臣は、プロジェクトは重要な段階に入っており、中国側との技術的な同期と進捗を確実にするために、設定されたスケジュールを厳守する必要があると述べました。

南北高速鉄道プロジェクトに関して、ミン大臣は計画・財務局に対し、特別なメカニズム、投資方式、投資家選定基準に関する建設省の報告書を早急に完成させるよう要請しました。

経済・建設投資管理局は主催であり、2026年末までにプロジェクト着工を確実にするために、投資家と連携し、詳細な作業スケジュールを策定します。

FPT が初の商用チップを日本に輸出

(出所：VN EXPRESS)



FPTは、日本のパートナー企業に電源チップを納入したと発表しました。これは、自社設計のチップをアジア市場に輸出するという目標の実現に向けた第一歩となります。

この電源チップは、オフィスや企業向けの高性能複合機（MFP）向けに特別に設計されています。これらのチップは、内部電源の管理と安定化、電圧・電流変動からの部品保護、高負荷条件下での安定した動作の確保に貢献します。

最初のチップバッチは、電子機器の販売を専門とするRestar社に納入されました。これは、ベトナム企業が日本のような高品質と信頼性が求められる市場に商用チップを投入した初めてのケースです。これらのチップの輸出は、FPT社とRestar社の協力における具体的な一歩です。両社はこれに先立ち、ベトナムと日本の両政府首脳との立ち会いのもと、今後3年間でFPT社が設計・製造したチップ1,000万個をRestar社がアジア太平洋市場に供給するという目標を掲げ、協定に署名しました。